

令和6年7月16日

保護者様

豊橋市教育委員会

教育長 山西 正泰

夏季休業中の課題などにおける生成AIの取り扱いについて

昨年度7月、文部科学省により「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」がまとめられました。生成AIの技術革新は、飛躍的なスピードで進んでいます。学校教育における活用の適否については、研究を重ねながら慎重に判断していく必要があるとされています。

については、児童生徒が夏季休業中の課題などに取り組む際の留意点を改めて以下のとおり示しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 夏季休業中の課題などに取り組む場合の留意点

- ◆ 読書感想文や日記、レポートなどを課題として学校へ提出する場合
- ◆ 外部のコンクール等への応募を想定した課題を提出する場合 など

- (1) AIによる生成物をそのまま自己の作品として応募・提出しないでください。
 - 現状では、ほとんどの場合、評価基準や応募規約によって不適切または不正な行為とされます。
 - 普段から、お子様なりの個性や思いを大切にしながら制作に取り組むことの「よさ」や「楽しさ」を伝えてください。
- (2) AIを利用して生成した文章などを部分的に利用する場合、次を添付してください。
 - ① 生成AIツールの名称、利用した日付がわかるもの
 - ② 生成AIとのやりとりの過程（指示文やそれに対する応答）を印刷したもの

2 その他

- 生成AIツール（ChatGPT BeingChat Bard など）の使用には、利用規約（年齢制限・保護者同意）の遵守が求められています。
- 今後も、学習者として身につけるべきデジタルシチズンシップ（情報技術の利用に関する適切で責任ある行動）について、ご家庭の協力を得ながら指導してまいります。

《問い合わせ先》 豊橋市教育会館（情報教育担当）

（0532）33-2113